

STATIC SYSTEM(スタティックシステム) ロープレスキューセミナー

●内容

アメリカの消防保安基準である NFPA (National Fire Protection Association=全米防火協会) のスタンダード 1983 を基準にした、スタティックロープおよびローストレッチロープを使ったロープ救助テクニックのセミナーです。人間が、ロープの補助なくしては作業が難しい場所全般における、救助活動に適応します。また、高所作業テクニックにも応用可能です。プログラムの内容は、アメリカにおける近代的ロープレスキューではもっとも権威と実績のある CMC Rescue のスタイルを踏襲しています。また、受講しやすいように2日単位(14~16時間)のステップで構成されており(別記参照)、習得に応じて順次ステップアップしていきます。

まずはステップ1を受講いただき、知識と技術のベースを構築していただいたのちに、順次ステップアップしていくシステムです。ステップ1以降は、2、3、4のどのステップに移行していただいても結構です。実技講習の内容が多岐にわたり、練習の時間も長く、より細かなテクニックと対応能力を養えるプログラムです。

●適応

一般家屋やビルにおける高所作業、または救助
倒壊した家屋、ビルからの要救助者、資材の搬出
断崖や急斜面における作業、または救助
ダム、ノリ面、橋梁、トンネルなどにおける作業、または救助
煙突、鉄塔などにおける作業、または救助
山岳救助全般
洞窟内救助全般
閉所(地下道、エレベータートレンチなど)における作業、または救助
泥濘地における作業、または救助
ヘリコプターからの下降、および上昇
路外地全般における作業、または救助

●受講対象者

消防士、警察官、自衛官、海上保安官、高所作業従事者、野外活動の愛好家および指導者など

■主催

有限会社フィールドワークス/日本レスキューインストラクター協会(J-ric)

■協力

株式会社ジェイ・プランニング(CMC国内販売元)
ファーノ・ジャパン・インク日本支社(CMC国内輸入元)

■講師(別途プロフィール参照) 藤原尚雄

■STEP 1 (約 16 時間) : 屋内講習となります (一部屋外)

次のステップに進むために不可欠な、理論、機材、ロープ&テープノット (結策)、メカニカルアドバンテージシステム (倍力効果) の基礎を、2 日間で習得します。スタティックシステム・ロープレスキュー・テクニクにおいて、もっとも重要となるセクションです。

・1 日目 講習予定項目

NFPA と CMC の解説

ロープとウエビングテープの特性

2 点支持時の角度と荷重の分散と増幅

スタティックシステム・セイフティー・ファクター

・プルージック特性

・1 to 10 メソッド

・荷重限界

・フォールファクター

機材・装備の説明

必須となるロープ&テープノット (結索)

アンカー (支点) 作成の基礎

ピークルアンカー

・2 日目 講習予定項目

メカニカルアドバンテージ (MA) の基礎

2 対 1、3 対 1、5 対 1、6 対 1、ピグリグシステム、Wラインへの均等 6 対 1

ビレイラインシステム

システムキットと MA の応用

テンショニング (展張)

■STEP 2 (約 14 時間) : 屋外の斜面での実習となります。

ステップ1で習得した知識、技術を使って現場トレーニングします。テーマは、メカニカルアドバンテージシステムを応用した、急斜面での荷重の上げ下げです。A フレームやレスキューフレームを使ったハイポイントアンカーや、ストレッチャーラッシング (担架への要救助者縛着) も学びます。

・1 日目 講習予定項目

ステップ1の復習

ハイポイントアンカー (3~4パターン/レスキューフレーム含む)

ストレッチャーラッシング

ストレッチャーの結着と確保

徒歩による斜面の上昇、下降 (ピックオフレスキュー)

・2 日目 講習予定項目

ストレッチャーを使った斜面の上昇・下降

ガイディングラインによる斜面搬送

ノットパッシング (結び目の通過方法)

■STEP 3 (約 14 時間) : 訓練塔など屋外の垂直壁面での実習となります

斜面で培った技術を応用して、バーチカルシチュエーション（垂直状況）にステップアップしてゆきます。主にビルや訓練塔など、人工建造物を使う実習となります。

・1日目 講習予定項目

- ステップ1およびステップ2の復習
- チェストハーネスの作成
- ディセンディング（懸垂下降）
- アセンディング（垂直上昇）
- ストレッチャーリギング（4点吊り）
- ビクテムハーネス
- 荷重の上げ、下げ（メインとビレイ）

・2日目 講習予定項目

- ストレッチャーの垂直位置降ろし（バーチカル・ストレッチャー・ハンガー）
- ストレッチャーの水平位置降ろし
- ピックオフレスキュー

■STEP 4 (約 14 時間)

バーチカルシチュエーション（垂直状況）における、さらに高度なシステムを習得します。主にビルや訓練塔など、人工建造物を使う実習となります。

・1日目 講習予定項目

- ステップ3の復習
- ガイディングライン・レスキュー
- ストレッチャーの水平位置降ろし&引き上げ
- レクチャー（クートニーシステム）

・2日目 講習予定項目

- ラインクロッシング・テクニク
- クートニーハイライン・システム
(シングルライン/ダブルライン)
- ストレッチャー&クートニーハイライン・システム
- クートニー&リーピング・システム

■STEP 5 (約 14 時間)

ステップ5では、とくに細かなカリキュラムは設けていません。実際に難易度の高いフィールドに出て、断崖や橋においてストレッチャーの上げ下げを試みたり、渓谷を挟んでハイラインを張ったりと、これまでに学んだ知識と技術を総合的に応用して、よりリアルで実践的、かつアドバンスな実技を行います。

セミナー参加に際して必要となる要件

●参加資格

とくに腰部の故障がなく、心身ともに健康で、満 18 歳以上 60 歳以下の方で、免責同意書に自筆サインができ、セミナー期間中に協調性を維持できる方。経験の有無や長短、職種、性別は問いません。
※RESCUE3 の TRR-T コースをすでに履修済みで、有効期間中の資格認定をお持ちの方はステップ 2 以上のどのステップからも参加が可能です。

●ご用意いただく個人装備

以下の装備は、参加者ご自身でご用意ください。これ以外のものは主催者側で準備いたします。

筆記用具

シットハーネス（救助用にかぎる。フルボディーハーネスも可）

ヘルメット（救助用または山岳用）

活動しやすい汚れてもいい服装（消防の方は救助服で OK です）

活動しやすい汚れてもいい靴（消防の方は編み上げで OK です）

グローブ（ロープハンドリングに適したもの）

※チェストハーネスをお持ちの方はご持参ください。

●レンタル装備

CMC 社製のレスキュー用シットハーネス（NFPA 規格）は無料レンタルが可能です。ただし数にかぎりがありますのでお早めにお申し出ください。先着順となります。

●最小催行人数と定員

各ステップの最少催行人数と最大定員は以下の通りです。なお、最少催行人数に達しない場合は、セミナーを中止する場合があります（定員は会場の都合等により変更する場合がございます）。

ステップ	最小催行人数	定員
ステップ 1	10 名	35 名
ステップ 2	10 名	16 名
ステップ 3	10 名	16 名
ステップ 4	10 名	16 名
ステップ 5	10 名	12 名

●講習料金

各ステップとも **30,000円（1名／2日間）**

往復の交通費、滞在費、期間中の食費などは含みません。

出張講習の場合は、講師の交通費、宿泊費等を別途頂戴いたします。

傷害保険料（1,000 円／1 名）は別途頂戴いたします。

■お問い合わせ

株式会社ジェイ・プランニング

〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町 2-26-12 クノス吉祥寺 2F

TEL : 0422-20-4488 (代表) FAX : 0422-20-8440

E-mail info@jpla.co.jp

■講習のお申込みについて

お申し込み方法は、別紙の申し込み用紙兼参加承諾書に必要事項記入のうえ、ファックスしてください。ファックスが送られてきた時点で仮予約となり、講習費と保険代を振り込んでいただければ、申し込みは完了します。ご不明な点はお問い合わせください。

振込み先

三菱東京 UFJ 銀行 吉祥寺支店 (普通) 2419781 (ユ) フィールドワークス

※講習料金と保険料金を合計してお振込みください。1名様¥31,000-

■講師プロフィール

◎藤原尚雄 (ふじわら・ひさお)

- ・RESCUE 3 スイフトウォーターレスキューテクニシャンレベル1・インストラクタープロセプター
- ・RESCUE 3 テクニカルロープレスキュー・インストラクター
- ・RESCUE3 アクアティック・ヘリコプターレスキュー・テクニシャン
- ・EMP メディクファーストエイド・ベーシック・インストラクター
- ・CMC ロープレスキューテクニシャン・レベル3
- ・DAN 酸素レスキュー・インストラクタートレーナー
- ・川に学ぶ体験活動協議会 (RAC) 講師兼トレーナー
- ・自然体験活動協議会 (CONE) トレーナー

1958年生まれ、大阪府出身、神奈川県川崎市在住。急流スポーツ歴19年。専門誌「カヌーライフ」の元編集長。特定非営利活動法人(NPO)広域防災遭難救助捜索支援機構・理事長。全国各地で消防関係者に急流救助講習、ロープレスキュー講習、自然体験活動指導者に河川や野外におけるリクスマネージメント講習などを展開するほか、国土交通省国土交通大学校、総務省消防大学校、消防学校などでも救助関連の講師を担当。アウトドア、カヌー&カヤックの著書、関連雑誌での連載執筆なども行っている。

「主な実績」

全国消防救助シンポジウム講師&パネラー、消防大学校警防課程非常勤講師、消防大学校救助課程非常勤講師、静岡県消防学校救助課程非常勤講師、島根県消防学校救助課程非常勤講師

国土交通大学校河川研修課程講師、国際アウトドア専門学校顧問アドバイザー兼講師、日本リバーガイド協会常任理事

STATIC SYSYTEM ロープレスキューセミナー

申し込み用紙 兼 参加承諾書

申し込み日	年 月 日			
ご希望コース (○をつけてください)	Step1	Step2	Step3	Step4
受講日	年 月 日			
お名前	氏		名	
ローマ字				
年齢	歳	性別 (○をつけてください)	男	女
ご自宅住所	〒			
ご自宅電話番号		FAX		
携帯電話番号		E-MAIL		
職業		勤務先名		
勤務先住所	〒			
勤務先電話番号				
緊急時の連絡先と氏名				

日本レスキューインストラクター協会が実施する講習会を受講するにあたり、私は以下のことを認識いたします。

私は、私の意志に基づいて上記の講習会に参加申し込みを行います。私が参加する講習会には、一般的な怪我・打撲・捻挫・骨折等のもとより、死亡事故・後遺症障害が容易に発生する危険性が存在していることを認識しています。万が一、私のミスにおいて講習中に私が死亡や後遺症障害を含む事故・アクシデントに遭遇しても、私は講習の実施者や主催および主管法人およびその協力者に対して責任を追及することはいたしません。また、講習中に私が第三者に対して損害を与えた場合は、その損害賠償の責任は私に存在するものであることを認識いたします。あわせて、講習中のすべての私の行為は、実施者や主催者から強制されて行うものではなく、私の意思によって行われるものであり、講習には万全の体調・装備で臨むことを誓います。私が満 20 歳未満の場合は、私の講習参加の事実は私の親権者または後見人が認知・同意したものであることを誓約いたします。なお、私が既婚の場合、私の講習参加の事実は私の配偶者が認知・同意したものであることを誓約いたします。

誓約者氏名 _____ 誓約日 (西暦表記) _____ 年 月 日

必要事項記入のうえ、ファックスしてください。FAX : 0422-23-0057 (送り先 : 有限会社フィールドワークス)

個人情報の取り扱いについて

記載された個人情報は、当協会が責任をもって管理し、講習会に関する業務以外では使用いたしません。